

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立岡山朝日高等学校		
実践者等	古田 啓	実践日	令和4年10月5日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)	英語コミュニケーションの授業(各レッスンの末)でのリテリング活動		
対象生徒(学年等)	本校1年生		
育成を目指す資質・能力	☒ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等		

分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化 ☐ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用 ☒ 表現を充実させる活用 ☒ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化 ☐ その他()
	家庭学習	☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着

実践の内容

【授業】

(1) 取組の目標

「音声入力および録音機能を用いて、スピーキング活動を英文構成上の具体的な振り返りを伴ったものとする。」

(2) 取組に至る背景

年度当初よりスピーキングによるリテリングを行っていたが、教師が生徒の発話をみとめることは難しく、また、生徒自身にとっても自身であるいは互いにその場で適切な振り返りをすることが難しいという課題があった。スピーキング活動は授業を活性化させる上では有効であったが、適切な振り返りを行うことができなければ、生徒の深い学びに繋がるものではないという課題意識があった。

(3) 取組の概要

Chromebook の音声入力機能(GoogleDocument による)と録音機能(本体の画面録画機能による)を併用することで、生徒の発話を可視化、また、音声面でも再話後に振り返ることができるようにした

(参考:図1)。また、Google Classroom を用いて、録音したものを提出させることで、教員からも確認することを可能とした。

なお、この取組は学年の英語科教員と共有し、1年生全クラスで行った。



(図1) 実際に提出された生徒の録画面面

【本時と家庭学習との連動】

(本時前)

授業の予習を行ってくる。

(本時後)

各回数名ずつ優れたリテリングを行っている生徒の録音を Classroom を通じて共有し、優れたリテリングを行った生徒のものを用いて、発音面だけでなく、英文の構成の仕方などについて具体的な振り返りを与えるようにした。

【振り返りの例】 animal shelter > accepted & keep her > training session: imitate other dogs > training program: tough but never gave up > finally, became a police dog: play an effective role + agree with Naoki と要点を抑えながら、重要な部分には具体的な説明も混ぜつつ説明されていました。